

令和8年度(2026年度) ハラスメントに関するアンケート結果について(概要)

1 アンケート実施日

学 生: 令和8年(2026年)4月9日(水)～5月30日(金)

教職員: 令和8年(2026年)4月9日(水)～5月30日(金)

2 アンケート対象者数

学 生: 1,640名

→新入生を除く学部生・大学院生(男性634名、女性1,006名)

教職員: 200名

→教員84名、事務職員34名及び非常勤職員82名(男性90名、女性110名)

※新任教職員を除く

3 質問内容

別添アンケート様式のとおり

4 調査結果

(1) アンケートの回収状況

◆回収率: 8.2% (学生: 4.0% 教職員: 43%)

参考: 令和7年度 回収率24.0% (学生: 15.9% 教職員: 90.5%)

<学生>

- ・ 学生ポータル内のお知らせ欄、学内メールにより依頼

<教職員>

- ・ 教職員ポータルのお知らせ欄、学内メールにより依頼

(2) 調査結果の内容

- ・ アンケートの結果、学生2名、教職員10名の計12名からハラスメントを受けたとの回答あり。
(R7: 学生2名、教職員14名、R6: 学生5名、教職員: 13名、R5: 学生2名、教職員11人)
- ・ 内容は「アカデミックハラスメント」や「パワーハラスメント」等に関するものであった。
- ・ 学生の被害については、学内の常勤教員からで、教職員については上司や同僚からが主であった。

(3) 相談員への相談

- ・ ハラスメント相談員及び保健センターに相談があった件数 21件
※同じ人から複数相談があった場合も件数に含めています。

(4) その他の意見・要望

- ・ 学生及び教職員から、ハラスメント問題に関する個人の考え方、ハラスメントの実例、人権問題等の課題や必要性等の記載があった。

(5) アンケートに関して対応した事項

- ・ ハラスメント相談員及び管理監督者向けにハラスメント相談対応研修を行った。
- ・ アンケート結果を参考に、ハラスメントの防止等に必要の人権研修を全職員を対象に実施中。